今週（4月17日から4月21日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新しい積み期間となったものの、引き続き邦銀業態を中心に調達ニーズの強い展開が継続された。

無担保コールO/N物は、レート水準を改めて探る展開となった事で、週初17日は、前週末に比べやや低下した▲0.10%近辺での出会いが多く見られた。その後も水準感に大きな変化が無かった事で、20日までの加重平均レートは▲0.01～▲0.009%の非常に狭いレンジでの推移となった。21日は週末となったが、取り上がる動きは特段見られず、概ね横ばい圏の水準で取引が行われた。

ターム物に関しては、基準比率の上昇によるレート先高観から、週初はショートターム物を中心に▲0.01～▲0.005%近辺での出会いが中心となった。しかし、その後のO/N物のレート水準が横這い圏での推移となった事を受け、週後半にはやや低下した水準での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週を通して大きな変動がなく、552兆前後での推移となった。

●レポ市場

今週のGC O/Nは、週を通して▲0.11～▲0.10%で安定的に推移する展開となった。先週末より新しい積み期分の取引となったが、オファーとビッドが拮抗する展開が続いた事で、概ね横這い圏での推移となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y433～446回、5Y145～155回、10Y358～369回、20Y175～183回、30Y66～77回、40Y14～15回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンでやや軟調な推移が見られたが、入札においては底堅い需要が確認された。

19日に実施された1Y物の入札は、堅調な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。21日に実施された3M物の入札は、金融政策決定会合を控えている事や、1Y物の入札結果を受けてか、強めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでもしっかりと推移した。

短国買入オペは、18日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差+0.050%、平均利回較差+0.052%と軟調な結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼、小売、鉱業等の複数の業態が大型発行を実施した。全体としては週間発行総額12,000億円程度、週間償還総額6,000億円程度と発行超のマーケットとなった。市場残高は週を通して概ね23兆円台前半で推移した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%前後での出会いが中心であったが、3Mを越えるロングターム物や残高が膨らんだ銘柄については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/17 (月)	28,514.78	0.479	133.85	△ 0.010	△ 0.108	5,522,100
4/18 (火)	28,658.83	0.470	134.42	△ 0.009	△ 0.110	5,524,700
4/19 (水)	28,606.76	0.470	134.10	△ 0.010	△ 0.111	5,528,100
4/20 (木)	28,657.57	0.470	134.82	△ 0.009	△ 0.110	5,529,600
4/21 (金)	28,564.37	0.460	134.24	△ 0.010	△ 0.110	5,523,700

来週（4月24日から4月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/24 (月)			
4/25 (火)	月例経済報告（内閣府） 3月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)		2月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 3月の米新築一戸建て販売件数 4月の米CB消費者信頼感指数
4/26 (水)		2Y 29,000億円 5/1発行	3月の米耐久財新規受注
4/27 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目 14:00～)		1-3月期の米GDP速報値
4/28 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目 9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 3月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 3月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 4月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 3月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 3月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 3月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		3月の米個人所得・消費支出 4月のシカゴPM景況感指数 1-3月期のユーロ圏GDP1次速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/24 (月)	▲ 900	8,700	7,800	国債買入 国債補完 CP買入	27,800 ▲ 100	18,500	46,200	54,000	TB3M発行▲63,000 償還60,000 交付税借入▲13,000 期日13,000
4/25 (火)	▲ 2,000	15,000	13,000				0	13,000	
4/26 (水)	▲ 2,000	▲ 15,000	▲ 17,000				0	▲ 17,000	
4/27 (木)	▲ 2,000	3,000	1,000	新型コロナオペ	▲ 2,500		▲ 2,500	▲ 1,500	
4/28 (金)	▲ 1,700	6,200	4,500	CP買入		4,000	4,000	8,500	
週間合計	▲ 8,600	17,900	9,300	—	25,200	22,500	47,700	57,000	

4/24は日銀予想、4/25以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、週末に金融政策決定会合、翌週にGWを控え、一部の先で調達量を制限する動きが見られる可能性もあり、無担保コールO/N物のレート水準は、横這いからやや低下となる事が予想される。債券レポ GC O/N物は、週末の金融政策決定会合がやや警戒されるものの、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、▲0.11～▲0.10%程度の水準で推移する事が予想される。短国市場は、入札の予定はない。また、25日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、25日にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。また、月末発行が控えており、事業法人の発行動向およびレート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では、27日から28日に日銀金融政策決定会合、28日に経済・物価情勢の展望、4月の都区部消費者物価指数、3月の完全失業率・有効求人倍率、海外では、25日に3月の米新築一戸建て販売件数、27日に1-3月期の米GDP速報値、28日に3月の米個人所得・消費支出(PCE)、1-3月期のユーロ圏GDP1次速報などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入